



ふれあい通信

角倉父子の先駆性

チーム雅 秋房麻理

2月研修で取り上げる角倉了以と素庵の父子は、江戸時代初期に革新的な事業を数多く行った京都の豪商であり、その事業は近世京都の発展に大きく寄与しました。その事業の詳細は研修で説明することとして、ここでは彼らが当時の日本において、先駆的で非常に高い理想を持っていたことを紹介したいと思います。

角倉父子は自らの富を、朱印船貿易や保津川や高瀬川の開きくなど、社会性・公共性の高い公共事業に投資していききました。もちろん商人ですから投資した以上の利益を回収していきませんが、しかし角倉の場合は自らの後々の利益もさることながら、富の有効な活用に取りました。

作家辻邦生氏は『日本史探訪』の中で了以の仕事の理想を「有無を通じたり、福祉を高めたり、喜びをもたらしたり、より合理的な人間らしい生活を作ったりすること」で、「企業欲の中に社会性・公共性があり、そういうものを社会の中で仕事を通じて実現することが、なにか高い目的を実現していくこと」であると述べています。

例えば朱印船貿易において角倉船には通商の目的や船内での規律を定めた「舟中規約」がありました。そこでは交易の心得として自他ともに利益になることや、異国の風教を

尊重すること、同じ船に乗る者は互いに助け合うことなどが書かれており、近江商人の「三方よし」にも通じ、極めて合理的で倫理的なものです。

また、高瀬川開削工事での用地買収では、農業水路が運河に使われることに對して農民の反対運動があり、それに対して粘り強い説得と補償が必要となりました。

竹田村の農民に対しては、工事で損なった農地の年貢を引き受け、高瀬川の水を農業用水として用いても異議をもたない、また不要になった時は元の田地にして戻すことを誓約書として出しています。

農民に対して一方的な公権力の介入なくして解決できたことは当時として画期的でした。ここでも相手を尊重し、助け合い、お互いの利益を損ねずに事業を進めるために、自らの富を活用していつていっていることが読み取れます。封建制の強い江戸時代にこのような思想を掲げていたことは誇るべきことです。これぞ角倉父子の近代資本主義の理想にもつながる先駆性でした。

研修のお知らせ

●日時

2025年2月23日(日) 9時30分～11時

●場所

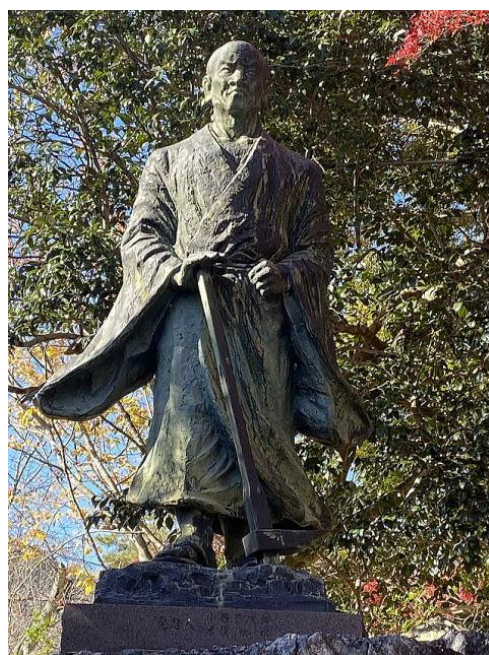
ひとまち交流館第3会議室

講師 秋房麻理

京都史跡ガイド
ボランティア協会
会長 山田久男
編集 澤田 卓



研修の申し込みは、2月17日(月)まで
企画研修 今井 満 090-5362-8981
アドレス mitsuru_imai@kiu.biglobe.ne.jp



畿内に邪馬台国はなかった

チーム都 今井 満

1月19日、キャンパスプラザ京都で古代史講座があった。

ヤマトを発掘して40年、考古学者の関川尚功氏(元橿原考古学研究所々員)の「畿内に邪馬台国はなかった」の講演で、出土品や纏向遺跡の古代の地勢から、畿内に邪馬台国の所在を見出すのは難しいと発表された。

研究所に在籍中には、畿内特有の雰囲気では、出来なかった事と、九州と畿内の出土品の対比を説明され、特に銅鏡の解説は、もう少し補足が必要だが、以前私がセミナーでお話した内容に、ほぼ近かった。邪馬台国論争については、己の信じるものを自由に述べられるのは素晴らしい。

私の横顔

(会員、賛助会員紹介)

▼名前 東 浩一(あずま こういち)

▼出身地 出生は三重県の鳥羽で、「昭和南海地震」の正にその日に生まれました。すぐに京都へ引越したので、鳥羽での記憶はありません。

▼歴史上の好きな、または嫌いな人物、史跡とその理由

私の先祖は水戸藩士の「住谷寅之介」です。
(実際は実弟の子孫ですが)

今まで歴史に特に興味がなかったのですが住谷寅之介の事や、関連の幕末の事とかを勉強しだすようになりました。
強いて嫌いな人物は井伊直弼です(笑)
京都検定に挑戦しようと京都中あちこち回りましたが、上っ面だけで中身が伴っていないことが多いようです。

▼趣味(特技)

スポーツ観戦、下手くそなゴルフ(最近メンバーが高齢になってきてタマにしかやっていません)
カラオケ

▼名前 渡邊 俊(わたなべ しゅん)

通称・シュンさん

▼出身地 静岡市生まれ 1946年9月

10日 父親の任地(職業軍人)戦後東京に移住 その後首都圏にあちこち 2011年5月滋賀県大津市に移住 現在に至る65年間在京でちゃきちゃきの江戸っ子気質です

▼歴史上の好きな、または嫌いな人物、史跡とその理由

聖徳太子・戦国時代武将(大谷吉継)
嫌いな人物の理由
信長(独裁者) 信念のない政治家

▼趣味(特技)

山歩き(20代から継続) 65歳頃 心筋梗塞・脊柱管狭窄症発症 現在も服薬中
日常生活には支障なしですが、高山は無理です。若い頃から寺院探訪が高じて関西に移住決意。

読書、TV旅行番組 映画、旅行、料理

▼その他 40年間 調理師として勤務

▼名前 岩田 弘

▼出身地 長崎県五島列島

▼歴史上の好きな、または嫌いな人物、史跡とその理由

司馬遼太郎の「菜の花の沖」の主人公の高田屋嘉兵衛が好きな一人です。淡路島に行くと記念公園もあり、ああこの辺で生まれ、激動の中を力強く生き抜いたんだなあと感じます。今は「街道をゆく」を最終巻まで読み終えたいと思っています。

▼趣味(特技)

ゴルフ、ハイキング、食べること、お茶

▼名前 澤田 博之

▼出身地 福井県

▼歴史上の好きな、または嫌いな人物、史跡とその理由

歴史上での好き嫌いな人は特にありません。神社、仏閣に興味があるので。

▼趣味(特技)

ドライブ、短めのトレッキング、読書

『驚き、桃の木、明治の記』

④五代友厚(前編) チーム葵 今川博明

昔は全く注目されなかった五代友厚は、NHKの朝ドラ『朝が来た』で一躍世に知らしめられました。彼を演じたディーン・フジオカのおかげと言えるでしょう。

官を辞して大阪で実業家となり大阪の恩人と言われるくらいに経済発展に貢献。大阪株式取引所、大阪商工会議所、大阪商業講習所などを設立。彼の大阪の屋敷跡は、今では大阪科学技術館になっています。

彼は薩摩藩士の父を持ち、長崎で航海、砲術、測量などの技術を習得し、オランダ語も学びました。慶応元年には藩命により留学しています。

彼の成功の一つは、長崎でグラバーと仲が良くなったことです。薩英戦争でイギリスの捕虜となりましたが、直ぐに解放されたので幕府からは監視されていたようです。そのため長崎に潜伏しますが、その時にグラバーと親交を深めたそうです。

彼の富国強兵、留学生派遣などの構想もグラバーの支援があったためで、薩摩藩は近代化を推進していきます。もちろん、薩摩の小松帯刀や大久保利通とも親しかったからです。勝海舟や、龍馬、岩崎弥太郎とも親交がありました。

1865年薩英戦争でアームストロング砲を知り、先ずあの小さく偉大な英国の力の源の産業そのものを輸入しようと思ったのです。英国ではロンドン大学の恩情にも育まれ、宗教哲学の恩恵を受け、政治・法律の基には経済があることを確信。自ら現実主義者となって日本国家の礎となることを決意したのです。

京都の地味な話

東山区に国指定の天然記念物がある？

チーム彩 奥西不二

今熊野のバス停近くにある醍醐道（滑石越え）を山科の方へ登って行くと浄土宗の新熊野山正法寺があります。天然記念物はその境内の西側にある墓地の崖に存在する洪積世時代の断層です。正確には「東山洪積世植物遺体包含層」と言い、昭和18年に指定されます。見つけるのは大変ですのでお勧めしません。言われてみて「そうでつか」みたいなものです。

洪積世と言えば二万年以前の地層で、京都盆地が大阪湾に続く湖の底であった証拠です。深泥池に氷河期の植物群が残っていることで天然記念物に指定されていますがそれよりも古いものです。あまりにも小さくて地味なので荒らされることもなかったのでしょうか。ただ今住んでいる場所が湖の底だった、その風景を想像させるだけでも貴重な存在である言えます。



崖下に降りての撮影はできなかったのでウキペディアからの画像です

ロックな涅槃図

チーム葵 澤田 卓

京都の寺で文化財寺院の特別公開が行われておりますが、その中に建仁寺塔頭西来院に新たにユニークな涅槃図が展示されているとのことでした。

涅槃図は、俳人黛まどかさんが師でもあった父執氏の死後喪失感に苛まれていたが、京都本法寺で長谷川等伯の涅槃図と出会う。等伯が息子久蔵を追悼するため、描き奉納したもので、まどかさんは、父の死で落ち込んでいた自分と、まだ若く画才豊かで早世した息子の死を受け止めた等伯の心情を知ることにより前を向くことができ、彼女は父の供養をしたかと思いついたという。

旧知の元ロック音楽プロデューサーで、現在画家として活躍するキーヤンこと木村英輝さんを訪ね、事情を話し涅槃図作成を依頼したとか。キーヤンは京都でもよく勢いのある赤や青の鯉や龍の絵を見かける一風変則的な画風の方で、その涅槃図には、嘆く動物の他、仏弟子ではなく世界に影響を与えたロックな人々を描いています。

説明はないですが、エルビスプレスリー、ジョントラボルタ、アインシュタイン、モンロー、ヘップバーン、レノンとヨーコ、どうゆう訳か聖徳太子らしきも、しかし、清少納言はまどかさんのリクエストだったとか。

そして、まどかさんは涅槃図に自作のそれぞれの四季を読んだ俳句を貼付して奉納したもので、添え書きのメッセージには、ウクライナ、中東やこの瞬間にも紛争で苦しむ人があり、そういった人々の鎮魂を願うとある。

その他にも建仁寺中興の祖、蘭溪道隆禅師に関する遺品や中国で修行した峨眉山の石を

配置した庭があり、山に棚引く雲や河川を表しているという。

また天井に描かれた龍は、中国の画家陳漫（チエンマン）氏によるもので、阿吽の表情豊かな双竜がダイナミックに描かれており、こうして新しい才能を古式豊かな寺院に引き継がれることは、寺院も立ち止まることなく未来に向かっているのだなと思いました。なお、特別展示は、3月18日迄のことでした。





マガモの道ならぬ恋

チーム雅 新堀裕子

冬の楽しみの一つは、川や池にや
つて来る鳥たちを観る事です。

ある日の冬の高野川で、マガモのメスがカ
ワアイサと言う美しい水鳥にぴったりと寄り
添い泳いでいました。マガモのメスはご存じ
のように全身茶色の地味な鳥で、カワアイサ
のオスは頭が青緑、羽が白くスマートで人目
を引きます。

二羽は 仲良く泳いでいたのですが、そこへ
カワアイサのメスが近づい
て来ました。すると、なん
とマガモのメスがカワアイ
サの本妻さんを威嚇したの
です。それも何度も激しく。
本妻さんは、マガモのメス
の剣幕に驚き逃げて行きま
した。

鳥にも道ならぬ恋がある
のか？

鳥に詳しい人に尋ねたと
ころ、「カワアイサが水に潜
って魚を捕る時、水草をま
き散らすのでマガモがその
水草を食べていたのではな
いか」との事でした。
道ならぬ恋は 幻想だっ
たのか？
いやいや、あのマガモは
カワアイサに惚れていた、
あのカップルの雰囲気はた
だものではなかった、と今
でも思っています。

カワアイサ
♂70 ♀60



『世界の至宝法隆寺金堂壁画』

1/26の文化財防火デーに寄せて

チーム華 富永正治

法隆寺金堂内の壁画は、インドのアジャンター
の石窟寺院群壁画、中国の敦煌莫高窟壁画と
並んで世界三大仏教壁画と言われています。そ
れが1949年1月26日、失火により焼損してし
まいました。これは国内外に大きな衝撃をもつて
伝えられ、のちに「文化財保護法」が制定される
きっかけになり、1955年（昭和30年）から1月
26日が文化財防火デーに指定されています。



焼失した壁画

では法隆寺金堂内の壁画は何がすごいのか。

① 巨大壁画である

金堂外陣の全12面のうち4面の大壁は幅約2、
6m、高さは約3、1mある。しかも仏様の姿が大
きい。（通常の仏画は仏像が多数描かれているが、
一体一体は小さい）

② 制作年代が古い

7世紀後半〜8世紀初めの飛鳥時代。

③ 姿、形が美しい

形の美しさ、均一な太さの線の美しさがズバ抜
けている。また、線の太さや濃淡が一定でない肥
瘦線（ひそうせん）に対し、金堂壁画は一定の太
さ、濃さの鉄線描（てっせんびょう）で描かれてい
る。

④ 世界に類例が残っておらず、歴史的価値が
高い

当時手本とした唐の長安の仏画の写しと考え
られているが、現在の中国には現存していない。

幸い戦前から京都の便利堂撮影による363
枚の原寸大ガラス乾板（重要文化財）や三色分
解法によるカラー写真、当時の一流画家による
模写が残されており、それらに基づいた再現壁
画がパネルに仕立てられて現在の金堂内にはめ込
まれています。また、焼損した大小の壁画計12
面、および焼損を免れた小壁の内陣飛天図20
面は、将来の公開を見据えて焼けた柱とともに
収蔵庫に保管されています。

なお、便利堂によつて原寸大モノクロ画像は、
下のリンクからデジタルビューアで拡大して見るこ
とができます。金堂壁画が超微細かつ力強く美
しい線で描かれ、仏教美術史上の至宝といわれる
理由がよくわかります。

<https://view.horyuji-kondohetiga.jp/>

